

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】					生物系学士教育プログラム			
	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	(1) 生物系が提供する講義・実習科目の履修を通し、生物学に関する専門的知識を修得する。							○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 「専門的知識」(専門性)が対応しているため							
	(2) 生物学の知識をもとに人間・社会・自然に対する理解を深め、問題を探求し解決する能力を身に付ける。	○	○	○				○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 「人間・社会・自然に対する理解」(社会性、地域・国際性)、「問題を探求し、解決する能力」(自律性、問題解決力)、「生物学の知識」(専門性)がそれぞれに対応しているため							
	(3) 学士課程の集大成としての卒業研究を通し、知識の活用能力、論理的思考力、課題探究力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力、総合的判断力などを身に付ける。	○				○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 「課題探究力」(自律性)、「表現能力」「コミュニケーション能力」(コミュニケーション・スキル)、「知識の活用能力」(情報リテラシー)、「論理的思考力」(問題解決能力)、「集大成としての卒業研究」(専門性)がそれぞれに対応しているため							
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)							
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								